



調査レポート

Report

3期連続の改善傾向

～業界の景況は改善傾向だが、仕入価格上昇による採算悪化も見られる～

《調査概要》

- 調査時期
平成29年12月8日(金)～12日(火)
- 調査方法
FAXによる送付、回収
- 調査対象
福井商工会議所会員小規模事業所より400件を抽出
- 回答数
206件(回収率51・5%)

《調査結果について》

今回の調査結果としては、3期連続の改善傾向にある結果となった。業界の景況・自社の景況ともに全ての業種において前回調査（H29年9月期）の水準を上回っている。業種別に見ると、製造業に関しては仕入価格が悪化しているものの、受注が増えている、売上高・採算は改善している。

《DI値とは・・・》

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、DI値が大きいほど事業所の感じる景況感が良いことを意味する。

《前回調査とのDI値の比較》

業種	前回調査と今回の現在DI値の比較					
	業界の景況	自社の景況	売上高(受注高)	仕入価格(部品・資材・原材料等)	販売価格	採算(収支)
全業種	↑	↑	↑	↓	↑	↑
製造業	↑	↑	↑	↓	↑	↑
建設業	↑	↑	↓	↓	↑	↓
卸売業	↑	↓	↑	↓	↑	↓
小売業	↑	↑	↑	↓	↑	↑
サービス業	↑	↓	↓	↓	↑	↓

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

《トピックス調査》

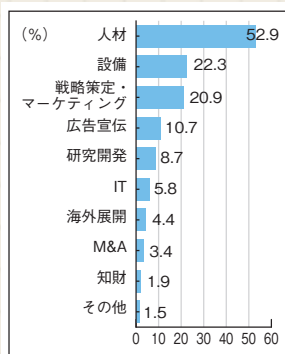
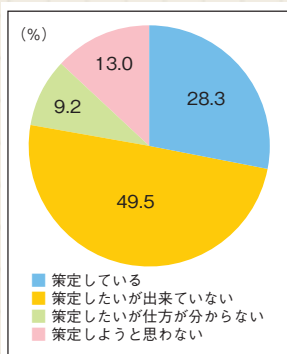
今回のトピックス調査では年末というところで、各事業所の来年度以降の展望について伺った。来年度以降に取り組みたい投資に関して（複数回答可）伺ったところ、「人材」と回答した事業所は半数以上の52・9%であった。特に建設業の事業所の多くが人手不足に悩んでいる。

事業方針（計画）の策定に

関しては、28・3%の事業所が「策定している」と回答した。また、「策定したいが出来ていない」「策定したいが仕方が分からない」が49・5%、「策定したいが仕方が分からない」が9・2%となり、事業方針（計画）の策定の必要性を感じているが、実行できない事業所が半数以上であることが分かる。

詳しくはHPをご覧ください

【事業方針（計画）の策定】 【来年度以降に取り組みたい投資】



お問い合わせは・・・
福井商工会議所 金融・税務相談課
TEL 0776(33)8284